

演劇とコミュニケーション I

科目ナンバリング ARL-103
選択 2単位

竹盛 文

1. 授業の概要(ねらい)

社会生活を営むにあたり、何歳になっても避けては通れないのが他人とのコミュニケーションです。演劇にはコミュニケーションに必要な要素「伝える力・聞く力」等があります。近年では全国の小中高(特別支援学級含む)の授業で演劇が実施されていたり、大手企業の研修に演劇的な要素が取り入れられるなど、演劇はこれまで以上に、社会と繋がる活動になりつつあります。

本講座では、座学をほとんど行わず、ワークショップ型の授業を行います。そして参加者全員で演劇作品をつくり、発表するというプロセスを体験してもらいます。実践的な過程を経験することにより、演劇が持つ「コミュニケーション力」を実感し、また協同作業を行うことにより、これからの社会生活に必要な社会性を身に着けるきっかけになればと思います。

2. 授業の到達目標

演劇の手法を用いて「己を知り他者を知る」ことができる。他者と自分を同等と認め、社会生活に必要な表現力や、物事を前向きに捉える力を養う。またこれから社会人になるにあたり、様々な世代の人とより交流しやすくなる話し方についても学んで行く。

3. 成績評価の方法および基準

授業への取り組み姿勢…40%

発表への取り組み姿勢…30%

課題レポート…30%

4. 教科書・参考文献

教科書

必要に応じて資料を配布

参考文献

必要に応じて資料を配布

5. 準備学修の内容

必要に応じて以下のような準備学習課題を課します。

①配布資料(動画含む)や参考文献の読み込み及び視聴

②課題レポートの作成

6. その他履修上の注意事項

履修は最大30名程度とする予定です。希望者多数の場合は抽選を行います。第2回以降からの参加は認めませんので、希望者は必ず第1回のガイダンスに参加してください。

本講座は、ワークショップ形式で実施されます。実際に身体を動かしながらコミュニケーションゲームや身体表現を行うことがありますので、毎回動きやすい格好で参加してください。サンダルやヒールのある靴、スカートを避けてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 LMSによる授業ガイダンス
- 【第2回】 ワークショップ①/身体と心をほぐす
- 【第3回】 ワークショップ②/他者と己を知る
- 【第4回】 LMSによる授業/ACWについて知る
- 【第5回】 即興演劇(インプロ)①/自分を表現してみる
- 【第6回】 即興演劇(インプロ)②/他者と息を合わせる
- 【第7回】 台本を用いたワークショップ①
- 【第8回】 台本を用いたワークショップ②
- 【第9回】 台本を用いたワークショップ③
- 【第10回】 オリジナル台本の作成とワークショップ①
- 【第11回】 オリジナル台本の作成とワークショップ②
- 【第12回】 オリジナル台本の作成とワークショップ③
- 【第13回】 作品発表
- 【第14回】 作品発表
- 【第15回】 振り返りまとめ